

全仁会グループ 倉敷平成病院 広報誌

全仁会ニュース

2016
早春号
No.83

限りない QUALITY OF LIFE を求めて

社会医療法人全仁会 倉敷市老松町4丁目3-38 倉敷平成病院内 全仁会ニュース編集部 発行責任者/高尾 武男



表紙:「おひなさま」ピースガーデン倉敷 デイサービス リハビリステーション ピースでの作品

健康特集	もう一度考えてみよう! 糖尿病治療のながれ	2
倉敷老健Q&A		3
院内紹介	認知症およびせん妄サポートチームの活動	6
近況報告	老松小学校より車いす寄贈を受けました	6
健やか体操	～家庭でできるストレッチ～	4
通所リハビリテーション(予防リハビリ)の活動内容		5
ヘルシーレシピ		7
グランドガーデンだより		7



日本医療機能評価機構
認定第 JC2072 号
当院は2016年1月
日本機能評価機構の
認定を受けました

平成28年の
のぞみの会は

11月6日(日)

倉敷平成病院
リハビリセンター
にて

ぜっとくん



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

ご自由にお持ち帰りください



もう一度考えてみよう！ 糖尿病の治療のながれ

倉敷平成病院 倉敷生活習慣病センター 診療部長 青山 雅 医師



健康診断で血糖値やヘモグロビンA1c (HbA1c) が上がっていて、発見されることが多かった糖尿病ですが、最近では、脳梗塞になった、交通事故にあった、転んで骨折した、肺炎になった、足が腐ってしまった、物忘れがひどくなったといった病院を受診し、その時に初めて糖尿病と診断される症例や、わかってはいたけれど、治療を自己中断して、上記の病気になって病院に運ばれたという症例が多いなという印象を受けます。

糖尿病という食事制限をしなくてはいけない、禁煙、禁酒もあるということで、なかなか治療を受けたくないというお気持ちからでしょうか。しかし糖尿病の治療は、それほど難しいことではありません。今回は、私たちが、糖尿病の外来患者さんに指導している内容を少しお話ししたいと思います。

①その患者さんが糖尿病あるいは糖尿病境界型、正常なのかを判断します。

採血で血糖値、HbA1c、膵臓からインスリンが分泌されているかどうかの指標（C-ペプチド）を測定します。必要な人には糖負荷試験をします。

②患者さんの現在の合併症（神経障害、網膜症、腎症）、脳の血管、心臓の血管、下肢の血管の動脈硬化の程度を判断します。

③身長体重をはかり肥満がないかどうか、高脂血症、高LDL血症、低HDL血症などの脂質異常症はどうか、血圧をコントロールするのも大切なことです。

患者さんの状態を把握した後に患者さんにあった食事療法、運動療法、薬物療法が選ばれます。

食事療法について：一番大事なものは、炭水化物の制限です。これは、今はやりの低糖質ダイエットをおすすめしているわけではありません。糖尿病患者さんの内服薬は、血糖値を下げるお薬なので、糖質を極端に減らしたり、ゼロにすることは低血糖の危険性や、脂肪が燃えてケトン体が発生し、気持ち悪くなります。

あくまでも、患者さんが治療前にどれだけの炭水化物、脂質、タンパク質を取っていたか調査をしてのちに、その人の炭水化物の量の指示が出ます。

自己流でやる場合にも、必ず、毎食、おにぎり1個分くらいは食べることをお勧めします。そうでなければ体重は減ったけれど、血糖コントロールは悪くなったということが起こります。あと、肉、魚を目の敵にして、果物、お菓子を好き放題食べて、自分の身体の筋肉、骨、皮膚、髪の毛になるタンパク質を摂らない人がいますが、肥満しているのに栄養失調という場合もあります。お肉は、しっかり焼いたり、蒸したり、しゃぶしゃぶにして油を落としてから食べましょう。後、果物や、お菓子は、食直後に少し食べると、食間に間食としてとるよりは血糖を上げません。

運動療法について：血糖を下げる運動としては、食べ始めて1時間後に、5分から10分の散歩をお勧めします。また筋肉増強運動を行うと、同じものを食べても血糖が下がりやすい身体になります。食事が終わった後の入浴は、歩行と同じくらいの運動量があります。ただし、入浴後のアイスクリームや、ビールなどは運動の効果を台無しにしますので注意してください。食事をしないで運動しても体重が減るだけで血糖値が良くならないことがあります。あくまでも食事をとることが大事です。

薬物療法について：食事をしないで薬だけを飲んだり、インスリンを打つのは危険です。嘔吐、下痢の後に薬を飲むのも危険です。3食きちんと食事をした後にお薬を飲んで、運動をするという順番が大事です。

以上、食事・運動・薬物の三つの柱についてごく基本を申しました。糖尿病の治療は各人の状態によって異なります。まさしくオーダーメイド治療となります。主治医と相談しながらすすめていきましょう。

倉敷老健 Q&A

倉敷老健 看護部長 小山 恵美子

Q1 入所できる方はどのような方ですか？

A1 65歳以上の方で、要介護状態区分で「要介護1～5」の認定が必要です。リハビリをしたい方や、高齢や病気のため、自宅での生活が困難になった方、また、介護者の休養のために、被介護者が入所することもできます。また、40歳以上65歳未満の方でも、特定疾患（がんや脳血管疾患、若年性認知症、パーキンソン病など約20の疾患があります）によって、要介護状態に認定された方は入所できます。

Q2 入所中の生活はどのようなものですか？

A2 リハビリ以外にも、理学療法士による毎朝の体操、学習療法士による学習療法、音楽家による音楽療法、回想療法、師範による生け花、ボランティア喫茶、歌声広場、買物、季節行事など様々な活動があります。入所中に持病の悪化や合併症が起きないように、また、引きこもりや寝たきり、認知症状が悪化しないように多職種が連携して取り組んでいます。



Q3 病気が悪化したり、発症したら退所しなければなりませんか？

A3 施設長（医師）が、病状に応じた診察、検査、薬の処方、病院への受診の指示や紹介、ご家族への病状説明など入所者の健康管理を行います。必要があれば倉敷平成病院の外来や救急外来あるいは他の病院を紹介し、迅速に診療してもらいます。入院治療が必要になった場合は一旦退所になりますが、退院の許可がでたら再度入所をご相談ください。



Q4 リハビリはしてもらえるのですか？

A4 現在、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名が配属され、希望や状態により入所からの3ヶ月間、身体的短期集中リハビリを週に5～6回、認知的短期集中リハビリを週3回（いずれも1回20分程度）行うことが可能です。その他に、転倒予防体操、上肢機能や認知機能向上を目的にした手芸倶楽部、言語機能向上を目的とした小集団に参加していただきながら、生活リズムだけでなく他者との交流を増やすことも行っています。また、自宅に帰られてからの生活がスムーズにできるように、リハビリ担当者が自宅を訪問し、色々なアドバイスをしています。



Q5 付添いは必要ですか？

A5 付添いは必要ありません。しかし老健に入所したからと言って転倒や転落、誤嚥の危険が全くなくなるとは言いきれません。限られた人数で複数の入所者の方を支援しているため、目が離れることもあります。そのため、職員同士で連携や情報の共有、代替介護用品の使用など行っています。本人やご家族と相談しながら安全にそして安心して生活できるよう取り組んでいます。

Q6 入所に必要な費用はどれくらいですか？

A6 入所の費用は、その方の要介護度、介護保険負担限度額認定、介護保険負担割合、その他の負担認定や室料によって異なります。また、一部日用品や趣味に関する費用も申し込みがあれば必要になります。概ね7万円～25万円程度ですが、詳細はご相談ください。

以上他にもいろいろと倉敷老健ならではの特徴があります。どうぞお気軽に見学や相談にお越しください。

まずはお電話で代表 086-427-1111から倉敷老健へ。

皆様とご一緒に、入所の方の笑顔が見える生活をめざして取り組んで参ります。

健やか体操

～家庭でできるストレッチ～

テーマ

肩がこって いませんか？

倉敷平成病院 リハビリテーション部 理学療法科 守安 啓

平成25年国民生活基礎調査によると肩こりは女性が訴える症状の第一位、男性では第二位となっています。今回は肩こりについてお話いたします。

肩こりには医学的に明確な定義が存在していない

肩こりは主観的な表現で、病気の名前ではなく症状名のためなかなか定義づけが難しいといわれています。肩こりの説明としては「頭の後ろから首の後ろ、肩甲骨周囲、肩関節部にかけての筋肉の緊張を中心とする不快感、鈍痛などの症状、愁訴」と漠然としたものになっています。

肩こりの多様な原因

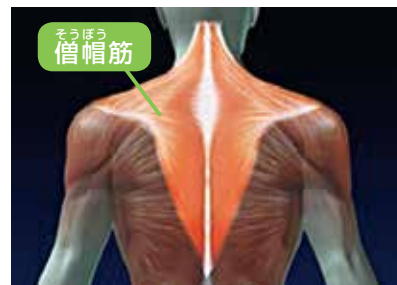
肩こりは肩や首の整形外科的な疾患だけではなく、循環器、消化器、神経系、眼などの疾患が原因で発生することもあります。また極度の緊張状態やストレスなどによっても生じることもあり、なかなか原因を特定しにくい症状でもあります。そこで肩こりが起こりうる各疾患の特徴をあげていきたいと思います。

- 整形外科疾患：肩関節周囲炎（いわゆる五十肩）、肩腱板損傷（肩関節を安定させる筋肉の損傷）が多く、どちらも肩が上がりにくくなったり、重いものを持ったりすると痛みが出る場合に疑わしい疾患になります。その他にも変形性頸椎症、頸部椎間板ヘルニア、胸郭出口症候群、事故などによるむち打ち症などもあります。
- 循環器疾患：心臓に問題のある狭心症の場合、肩こりが出現することがあります。胸がしめつけられる感じや鈍痛などを伴う場合もあります。
- 消化器疾患：胆石症、膵炎などと関係していることがあり、腹部痛を伴うことがあります。
- 神経疾患：しびれ、けいれんなどで二次的に肩こりになることが多いようです。
- 眼科疾患：眼精疲労（目の疲れ）によるものが多く、テレビを近くで見たり、長時間パソコン作業をしたり、スマートフォンを長時間眺めていると肩こりに繋がりがやすくなります。

このようにいろいろな病気と関連がある肩こりですが、よく病院に来られる患者さんで「私は重大な病気の原因の肩こりではないか」と心配される方がおられます。しかし先ほども述べたように一生のうちでほとんどの人が経験するものですので、肩こりのみの症状であれば過剰に心配する必要はありません。ただし、悪化する肩こり、胸部痛、腹部の痛み、しびれやめまいを伴う場合は早めに病院に受診をしてください。

肩こりの治療

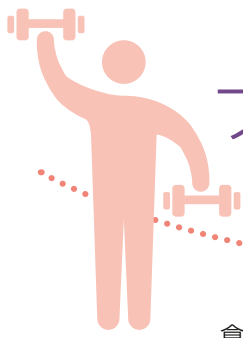
ではどうすれば肩こりを治すことができるかですが、残念ながら肩こりに完璧な治療法はありません。理由として原因疾患が多い点や、ストレスや緊張などで容易に増減してしまうという点があります。ゆえに国民のほとんどが悩んでいる症状なのです。しかしながら、完璧に無くすることはできなくてもやわらげたりすることは可能です。そこでまずやって欲しいこととしては**肩甲骨を動かすこと**です。肩には僧帽筋そうぼう（図1）という大きな筋肉があります。



【図1】

この筋肉には心臓に血液が戻りやすくする静脈弁がないという報告もあり、僧帽筋が硬いと肩こりになりやすいことが考えられます。そのため肩甲骨を上下に動かしたり、前後に動かしたりすることによって僧帽筋の血流を良くすることで、肩が楽になった感じがします。注意点としてはやりすぎないことです。上下左右に10回ずつ程度動かすだけでも十分効果があります。デスクワークなど同じ姿勢を長時間とることの多い人は2～3時間おきにすると肩こりが楽になります。

肩こりの原因は長時間の姿勢や運動不足も関わっていると言われています。今、猫背でこの全仁会ニュースを読んでいるあなた、少し目を休めて運動などされてみるのはいかがでしょうか。

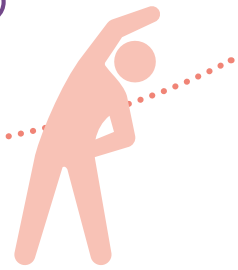


一人ひとりの身体にあった プログラムを見つけましょう

連載
第2回

倉敷平成病院通所リハビリテーション
(予防リハビリ)の活動内容

倉敷平成病院 通所リハビリテーション 生活相談員 寺中 亜耶



第1回では、予防リハビリが行っている“トータルヘルスケア”についてご紹介させていただきました。今回は予防リハビリの4つのこだわりのひとつである、“評価”についてご紹介していきます。

健康チェックの大切さ

予防リハビリでは健康チェック週間を設け、身体機能・認知機能・生活機能の評価を3ヶ月毎にプログラムの一部として一週間実施しています。この健康チェック週間では、ご利用の方全員に対して、詳細な身体機能や認知機能の検査を実施しています。

身体機能検査では、歩行スピードや筋力バランス、歩行能力を計測し、認知機能検査では注意力、記憶力、視空間認知、思考能力を定期的に計測しています。定期的な検査によって、自身の身体面や認知面、心のどんな機能が低下していてどこが維持できているのかを知ることで、今後の健康、体力づくり、生活習慣を見直す手がかりを得ることができます。日々行っている運動が、本当に自分にあっているものなのか見直すきっかけにもなります。

いかに健康を保って寿命を延ばすかは、日本でも世界でも大きな課題となっています。

ご家族、お孫さん、何よりご自身のために介護が必要な状態にならないようご自身の体の状態を把握し日頃から予防していくことが、未来の健康のためにとっても大切です。



【倉敷市より“事業所評価加算”算定が認可されました】

事業所評価加算とは介護予防への積極性と通所効果が倉敷市より認められた事業所のみ算定できる加算です。県内の通所サービスにて認可されたのは約1割とのことです(平成28年2月現在)。この成果をほこりに思い、より一層の健康支援を目指していきます。

予防リハビリテーション 理学療法士科長 樋野 稔夫

介護予防に関する事、通所に関する事、リハビリテーションに関する事など、お困りのことがありましたらお気軽にお問い合わせください。

予防リハビリ ☎ 086-427-1128



その他にも介護に関するご相談は ☎ 086-427-0110 倉敷在宅総合ケアセンター まで

DST「認知症およびせん妄サポートチーム」の活動

倉敷平成病院に、認知症およびせん妄サポートチーム（以下DST：Dementia Support Team）が発足して1年がたちました。医師、看護師、薬剤師、作業療法士、医療ソーシャルワーカーから構成され、認知症ケアを推進するための多職種で活動しています。チームの活動について紹介をしたいと思います。

涌谷認知症疾患医療センター長の指導の下、毎週の回診と毎月1回の委員会を開催しています。委員会では、せん妄チェックリストの作成、せん妄評価の統一、ご家族へ理解と協力をお願いするパンフレットの作成と活用等を行っています。当初は術後せん妄で困ることが多く、主に手術を受ける患者さんを対象に評価を行っていましたが、今では全病棟で評価を行い、早期に対応ができるようになってきました。パンフレットを使用するようになってからは、ご家族の面会が増えたり、夕方から夜間に付き添いを希望されることが多くなり、効果を実感しています。

DST回診では開始当初から約400人の回診を行いました。BPSD（認知症の周辺症状）が誘発される原因を、多職種チームによる回診で、診断、カンファレンスを行い、病態の理解と、病態に応じたケアやリハビリの工夫につなげるようにしています。薬物療法と、環境調整などの非薬物療法を組み合わせ介入しています。対応困難事例には事例検討会や勉強会を行い、振り返りも行っています。患者さんそのご家族をしっかりサポートしていきたいと思っています。

2階主任看護師 坂井 誓子



近況報告

老松小学校より車いす寄贈を受けました



平成28年2月8日、老松小学校より倉敷老健へ車いす1台の寄贈を頂きました。これは、小学校の児童会（5・6年生）が中心となり、全校あげて、今年度アルミ缶を収集された結果とのことです。年末に竹井副校長先生より打診いただきました。インフルエンザ注意報発令中のためこの日の全校朝礼はテレビ朝礼となり、放送室で受け取りました。倉敷老松小学校の新校舎は設備もしっかりしており、カメラや音声など全て児童が担当していたのに驚きました。

小学校児童会の担当の方からは「私たちの活動がお役に立てることが嬉しい。来年もこの活動を続け、車いす寄贈をしたい」とのお言葉がありました。

倉敷老健からは、小山看護部長が代表で受け取り「皆様のご好意に大変感謝致します。老健でしっかり活用させていただきます」と感謝の言葉を述べ、お礼にご入居のN様のリハビリの作品「ペーパークラフト：トリ」をプレゼント致しました。

大月校長先生からも皆で今後も協力して集めていきたいと思いますとお言葉がありました。老松小学校さんをはじめ地域との交流を今後も深めていきたいと思いました。



秘書広報室

※許可を得て写真を掲載しています。



生活習慣病予防のための

ヘルシーレシピ

倉敷平成病院 管理栄養士 小野 詠子



花ういろう

1人分/60kcal、塩分0.3g

■材料（6個分）

- 上新粉…………… 20g
- 薄力粉…………… 15g
- 片栗粉…………… 15g
- 砂糖…………… 30g
- 水…………… 100cc
- 食紅…………… ごく少量
- 白あん…………… 30g
- 桜塩漬け…………… 1個

■作り方

- ①桜の塩漬けはよく洗って余分な塩分を取り除いてから細かくきざみ、白あんに混ぜ、6等分しておく。
- ②ボウルに上新粉、薄力粉、片栗粉、砂糖を入れて、食紅を溶いた水を加えてよく混ぜる。
- ③ラップをして電子レンジで1分チン！取り出してよく練り混ぜる。少し透明感が出るまで2～3回繰り返す。
- ④クッキングシートかラップに打ち粉（分量外）をして生地をとり、6等分して丸めておく。



- ⑤円形に薄く伸ばして中心に①を乗せ、折りたたむ。
- ⑥抹茶や日本茶と一緒に「いただきます」。

桜の季節ももうすぐ

潔く散ることから武士道のたとえとされたり、硬貨に刻印されたり、日本の国花のような桜。あの独特の上品な香りにはクマリンと言ってリラックス効果がありますが、実は美しく咲いている生の花からではなく、塩漬けにした時だけ放たれる香りだそうです。

八重桜を塩漬けにしたものにお湯を注ぐ桜茶もお祝いごとには欠かせませんね。



グランドガーデンだより

グランドガーデン南町 新年会開催

ヘルプステーション南町 介護福祉士 山岡 和弘

平成28年、新しい年が始まりました。グランドガーデン南町は開設して2回目のお正月を迎え、1月5日に新年会を開催いたしました。今年最初のイベントとして、職員も力を入れて執り行いました。司会進行役の職員も着物と袴という出で立ちで新春ならではのイベントとなりました。また、倉敷ケーブルテレビによる取材があり職員一同緊張の面持ちでのスタートとなりました。



第一部では、毎月恒例となっています、「誕生会」の開催です。1月に誕生日を迎える方の紹介と申年生まれの方の紹介をさせていただきました。お食事は新春をイメージした「海鮮紅白寿司」で、皆さん満足された様子でした。



第二部では、「箏曲やよい会」の皆さんと「都山流尺八楽会岡山県支部」の皆さんをお招きしての琴と尺八の演奏会を開催しました。

『春の海』や『さくら舞曲』といった正月誰もが耳にする曲の演奏で、皆さんうっとり聞かれました。『荒城の月』では誰ももなく自然に歌詞を口ずさまれました。最後に『船頭小唄』の替え歌『ボケない小唄』を合唱しました。約50分という時間でしたが、楽しくそして心を癒されたことでしょう。



今年1年もきっと、ご入居の皆さんにとって良い年となることを願って閉会となりました。これからもグランドガーデン南町をスタッフ一同盛り上げていきたいと思ひます。



	診療科目	月	火	水	木	金	土	
午前 8:30~12:00	神経内科	高宮 資宜	高尾 芳樹	川上 秀史 (9時~パークinson病) 林 沙織 (9時~12時)	高宮 資宜	高尾 芳樹		
	脳神経外科	高尾聡一郎	鈴木 健二 篠山 英道	【手術】	高尾聡一郎	篠山 英道	担当医	
	脳卒中内科	芝崎 謙作				芝崎 謙作		
	総合診療科	堀内 武志				高尾聡一郎		
	内科		御領 豊		大浜 栄作			
	消化器科	古城 昌義	原 裕一	富山 恭行			山本晋一郎(第1-11時)	
	呼吸器科	矢木 真一	堀内 武志	沖田 理貴	堀内 武志	矢木 真一	矢木 真一(第1-3・5週) 堀内 武志(第2・4週)	
	循環器科	伊東 政敏	伊東 政敏	山田亮太郎	伊東 政敏	伊東 政敏	笠原 真悟(第2週9-12時)	
	整形外科	平川 訓己 高田 逸朗 (9時~12時30分)	平川 訓己 平川 宏之 中西 一夫 (第1・3・5週 9時~) 青藤専門外来	平川 訓己 高田 逸朗 (8時30分~12時)	平川 訓己 平川 宏之	平川 訓己	平川 宏之 担当医	
	耳鼻咽喉科	森 幸威	森 幸威	福島 久毅	【手術】	森 幸威	折田 洋造	
新患・初診・ 予約外受付 (8:00~11:00)	皮膚科	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵		
	形成外科	石田 泰久		石田 泰久	フットケア外来 石田 泰久 (生活習慣病センター2診)	石田 泰久	石田 泰久 (第1・2・4週)	
	リハビリテーション科							
	眼科	井東 千尋	石口奈世理	石口奈世理	石口奈世理	石口奈世理	小野 貴暁(第2週) 石口奈世理(第3週) 小野 貴暁(第4週) (初診受付/11時 再診受付/11時30分)	
	歯科	白井 肇	芦田 昌和	芦田 昌和	芦田 昌和 此内 浩信	芦田 昌和	芦田 昌和	
	午後 13:30~17:00	神経内科		高尾 芳樹				
		専門外来		神経難病 阿部 康二 (第1・3週 14時~16時)	パーキンソン 高尾 芳樹 (14時~16時)			
		脳神経外科					上利 崇(14時~17時)	
		脳卒中内科				芝崎 謙作		
		総合診療科			高尾聡一郎			
内科・消化器科					松本 啓志 (13時~16時)	ピロリ菌外来(完全予約) 井上 和彦		
呼吸器科				沖田 理貴	矢木 真一			
循環器科			御領 豊	山田亮太郎				
整形外科			【手術】		スポーツ外来 平川 宏之 (14時~18時 予約制)	【手術】		
耳鼻咽喉科		森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	
新患・初診・ 予約外受付 (13:00~16:00)	皮膚科	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵		
	和漢診療		高尾 公子(第1・3・5週) 青山 雅(第2・4週)		高尾 公子 (第2・4週)			
	形成外科				創傷外来(予約制) 石田 泰久			
	リハビリテーション科	担当医				担当医(16時~器具診)		
	眼科	石口奈世理(予約外来)	石口奈世理(予約外来)	石口奈世理(予約外来)	石口奈世理(予約外来)	石口奈世理(予約外来)	石口奈世理(予約外来)	
	歯科	白井 肇	芦田 昌和	芦田 昌和 浅海 淳一(第3週)	芦田 昌和 此内 浩信	芦田 昌和		
	予約再診受付 (8:00~11:30)	神経内科		高尾 芳樹				
		脳神経外科						
		脳卒中内科						
		総合診療科			高尾聡一郎			
内科・消化器科								
呼吸器科				沖田 理貴	矢木 真一			
循環器科			御領 豊	山田亮太郎				
整形外科			【手術】		【手術】			
耳鼻咽喉科		森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	
皮膚科		嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵		

◎新患及び各科の初診受付は診察終了時間の1時間前までです。◎第1・3火 14時~16時で阿部康二先生(岡大神経内科教授)が診察しています(予約制)。◎当院は麻酔科医(和田聡医師)が常勤です。

■ 総合美容センター【倉敷平成病院 1階】 予約制

☎086-427-1616

	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 (受付/8:30~11:30)	婦人科	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子 太田 啓明
	乳腺外科			澤田 祐香 (9時30分~13時30分) (受付/8時30分~13時)			
午後 13:00~17:00 (受付/12:30~16:00)	婦人科	太田 郁子	太田 郁子		太田 郁子	太田 郁子	
	乳腺外科				齋藤 互 (乳腺甲状腺外科)	山下 哲正 (乳腺甲状腺外科)	
10:00~19:00 (受付/8:30~18:30)	美容・形成外科	華山 博美 (16時30分~19時)	華山 博美	華山 博美	(~17時まで)	華山 博美	華山 博美

◎美容・形成外科で14時~16時30分は予約のレーザー・手術となります。◎木曜日は17時までの診療です。

■ 認知症疾患 医療センター

【倉敷平成病院 1階】
予約制 ☎086-427-3535

診療科目/もの忘れ外来	
午前/8:30~12:00 (受付/8:00~11:30)	
初診	再診
月	林 紗織 (9時~12時) 涌谷 陽介
火	高宮 資宜 涌谷 陽介
水	涌谷 陽介
木	高尾 芳樹 涌谷 陽介
金	涌谷 陽介
土	高尾芳樹(第1週) 涌谷陽介(第2・4週) 高宮資宜(第3週)

◎ご相談は、月曜日~金曜日 8時30分~17時、土曜日 8時30分~12時です。

■ 倉敷生活習慣病センター

【倉敷平成病院 2階】
予約制 ☎086-427-0120

診療科目/糖尿病・代謝内科	
午前/8:30~12:30 (受付/8:00~12:00)	
月	青山 雅
火	青山 雅(第2・4週)
水	青山 雅
木	青山 雅
金	青山 雅
土	【予約診療】(第2・4週)

第57回 院内コンサート開催

- 3月28日(月) 10時30分~11時
- 病院外来ロビー
- 倉敷ヤングプレーヤーズによる演奏

総合美容センター お肌つるつる脱毛計画

倉敷平成病院総合美容センターでは「春に向けてきらめき素肌に変身~お肌つるつる脱毛計画~」を実施。
● 3月1日~4月末日
● 両わき脱毛/1年間フリーパス:54,000円 など
※詳細はホームページをご覧ください。



全仁会グループ

倉敷平成病院
内科・神経内科・脳神経外科・脳卒中内科・整形外科・消化器科・循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・眼科・総合診療科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・和漢診療科・歯科

倉敷生活習慣病センター
糖尿病・代謝内科

総合美容センター
美容外科・形成外科・婦人科・乳腺外科

認知症疾患医療センター
平成脳ドックセンター

倉敷老健
倉敷市老松町4-3-38
TEL.086-427-1111
FAX.086-427-8001

救急病院 24時間対応

倉敷在宅総合ケアセンター
訪問看護ステーション・ホームヘルプステーション・ショートステイ・通所リハビリセンター・予防リハビリセンター・ケアプラン室・高齢者支援センター・エイゼイ鍼灸治療院
倉敷市老松町4-4-7 TEL.086-427-0110

複合型介護施設 ピースガーデン倉敷
地域密着型特別養護老人ホーム・ショートステイ・グループホーム・デイサービス
倉敷市白楽町40 TEL.086-423-2000

平成南町クリニック
倉敷市南町4-38 TEL.086-434-1122

住宅型有料老人ホーム ローズガーデン倉敷
倉敷市南町4-38 TEL.086-435-2111

サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町
南町ケアプラン室・ヘルプステーション南町・よくなるデイ南町
倉敷市南町1-12 TEL.086-435-2234

ケアハウス ドリームガーデン倉敷
デイサービス・ドリーム
倉敷市八軒屋275 TEL.086-430-1111